

2019年2月14日

各 位

オリックス株式会社

洋上風力発電の事業性調査を千葉県銚子沖で開始

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、千葉県銚子沖で、洋上風力発電事業の事業性調査(海底地質調査)を開始しましたのでお知らせします。

本調査では、地元関係者のご了承のもと、銚子沖の海域で、音波探査による海底地質調査を行います。音波探査機などを搭載した調査船で海域を移動しながら、海底面の状況や海底の地盤構造、地形などを調査します。

■調査概要

調査場所：千葉県銚子沖

調査内容：音波探査による海底地質調査

調査項目：①地層探査（音波探査機を用いて、海底下の地盤構造を調査）

②海底面状況調査

（サイドスキャンソナーを使い、人工魚礁や海底ケーブルなど海底に存在する構造物や敷設物、海底に沈積している海洋廃棄物や沈船の状況、サンドウェーブ（砂浪）の状況、海底面の土質の分布などを把握）

③海底地形調査

（音響測深機を用いて、海底の地形を確認）

調査期間：2019年1月30日～3月15日（予定）

オリックスは、太陽光、地熱、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーによる発電事業を積極的に展開しています。1995年に国内の陸上風力発電事業に出資して以降、蓄積してきた国内外での風力発電に関する知見を生かし、洋上風力を含めた風力発電事業の開発に向けて調査・検討を進めています。

今後も、事業活動を通じて社会に貢献するという考えのもと、太陽光のみならず風力や地熱などを活用した発電所の開発・運営を推進していくことで、バランスの取れた再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 奥田・金岡 TEL：03-3435-3167